

## [翻 訳]

政治の世界への女性の代表権～いまだ幻<sup>1)</sup>～エコ・バンバン・スビヤントロ<sup>2)</sup>

疋 田 京 子 (訳者)

## 訳者前書き

インドネシアでは、ジェンダー主流化政策の流れを受けて、女性の政治参画を促進するため30%クォータ制度を導入するという総選挙法案が、2003年2月国会で可決された。

ただし、可決された法規定は「各政党は最低30%の女性の代表権に配慮して、各選挙区で国会議員、地方議会議員の候補を出すことができる」（総選挙法第65条1項）というもので、政党への義務を課すものではないと解釈することもでき、その実効性については当初から疑問視する声が多かったのも事実である。

## キーワード：30%女性代表権、当選可能順位、公開比例代表制

1) 原題は“Keterwakilan Perempuan Dalam Politik : Masih Menjadi Kabar Burung”で、keterwakilanはmewakili (代表する, 代理する) という他動詞の受動態 terwakil/diwakil (=represented) の名詞化と考えられ、「代表している」「参画した」「選出されている」状態と訳すこともできる。「政治への女性の参画」とも訳せるが、「女性代表権」と訳した日本語論文があることと(大形里美「インドネシアの女性運動とジェンダーの主流化」田村慶子・織田由紀子編著『東南アジアのNGOとジェンダー』明石書店2004, 215頁), この制度がアフーマティブ・アクションの具体化の一つとして導入されたことを考慮し、「30%に関しては女性が代表者となる権利がある」と解して、本稿タイトルでは「代表権」と訳した。タイトルの含意は「政治の世界のなかで“女性”というグループの利益が代弁されている状態はまだ実現されていない」といったものである。また、kabar burungは「いまだ幻」と訳したが、直訳すれば「鳥の知らせ」であり、教育省言語センター編纂『インドネシア語大辞典・第3版』(Pusat Bahasa Department Pendidikan Nasional “Kamus Besar Bahasa Indonesia Edisi Ketiga” alai pustaka, Jakarta, 2002)によれば、「風の知らせ(kabar angin)」と同義で、「その真相が未だ明らかでないもの」の意味である。通常「うわさ」「ゴシップ」として使われ、「いまだうわさに過ぎないくらい実現していない」という意味に解した。

2) 著者であるエコ・バンバン・スビヤントロ Eko Bambang Subiyantoro氏は、マランのBrawijaya大学経済学部卒で、現在、Jurnal Perempuanのウェブサイト・コーディネーターを担当しているスタッフである。本稿翻訳にあたっては、スビヤントロ氏本人に直接承諾を得た。

今回訳出し紹介するのは、インドネシアで唯一の女性学雑誌『女性ジャーナル (Jurnal Perempuan)』<sup>3)</sup>34号2004年3月発行)に、選挙前に掲載された論文で、クォータ制度に対する各政党の取り組みを分析してクォータ制度の限界を指摘したものである。以下、脚注は全て訳者による注である。

夕方、選挙委員会 (KPU ; Komisi Pemilihan Umum) が決めた候補者名簿申請の制限時間も間近になって、スラバヤの2004年選挙に参加している政党の支部代表が大慌てで、その地区に偶然住んでいる女性実業家エンダンさんを訪れた。その政党代表は、彼女に政党の候補になってくれるよう強く求めた。「どうして、突然あなたの政党の候補になんておっしゃるの？ これまで、私は政治に関わったことは無かったし、ましてあなたの政党で仕事をしたこともないのに」と、エンダンさんは聞いた。その代表は、彼の政党が現在女性候補の不足に悩んでいるという事情を説明した。女性への30%クォータを満たすというのが候補申請の条件の一つなのに、登録した候補者のほとんど全てが男性だった。「もし、あなたにその気があるなら、既に登録している候補を取り消して、あなたと交代させましょう」と彼は言った。

(エンダン, 40歳, スラバヤ)

これは、2004年総選挙におけるインドネシアの政治過程のなかで実際にあった話である。今回実施された2004年総選挙は、確かに以前の総選挙とは異なっている。選挙形態が異なる一方で、選挙区ごとに少なくとも30%の女性が代表となるように、政党は候補者を擁立しなければならない、いわゆる30%女性代表権の規則によって、女性たちは政治過程に直接参加する機会をもつ時代になったのだ。こうした経緯には、これまで議会でほとんど注目されることのない

---

3) *Jurnal Perempuan* No. 34, 2004, YAYASAN JURNAL PEREMPUAN Cetakan pertama, Jakarta, Maret 2004 Didukung oleh The Ford Foundation.

かった女性への暴力や売春, 移住労働者といった女性の問題が注目されるよう  
 になるという希望がこめられている。

しかし, この希望, とりわけ女性候補を擁立する政党のコミットメントにつ  
 いては, やはり不安がある。希望がどんなに高くても, 女性候補を擁立しなけ  
 ればという確信や真剣さが政党の方になればそれは不可能だろう。また, 政  
 党法の中にしっかりとした義務づけはなされているわけではない。CETROは  
 ——「公約と現実の間; 政党は女性の政治参画をまだ最適なまでに高めてはい  
 ない」(ジャカルタ, 2004年1月6日) というタイトルの報道もあったように  
 ——「政党はまだ女性の政治参画を最適なまでに高めてはいない」と語ってい  
 る。CETROによると, 政党が女性の参画をまじめに高めようとしないかぎり,  
 自然には上昇しないのだ。しかし, 一喜一憂する前に, 2004年総選挙の女性候

表1. 2004年総選挙政党の女性候補総数

No	政 党 名	政党によって満たされている 女性クォータ候補者数					政党が女性クォーターを 満たしている選挙地域		
		JC	CL	%	CP	%	DP	KPDP	%
1	マルハエン主義インドネシア国民党(PNI MARHAENIS)	215	155	72.0	60	27.9	69	48	69.5
2	民主社会労働党(PBSD)	242	152	62.8	90	37.1	69	52	75.3
3	月星党(PBB)	336	256	76.1	80	23.8	69	42	60.8
4	独立党(P. MERDEK A)	202	130	64.3	72	35.6	69	51	73.9
5	開発統一党(PPP)	497	386	77.6	111	22.3	69	30	43.4
6	民族民主統一党(PDK)	223	150	67.2	73	32.7	69	47	68.1
7	新インドネシア連合党(PIB)	244	150	61.4	94	38.6	69	53	76.8
8	独立水牛国民党(PNBK)	216	152	70.3	64	29.6	68	37	54.4
9	民主党(P. MERDEKA)	433	316	72.9	117	27.0	69	31	44.9
10	インドネシア正義統一党(PPKI)	250	153	61.2	97	38.8	69	52	75.3
11	インドネシア民主主義堅持党(PPDI)	259	168	64.8	91	35.1	69	39	56.5
12	インドネシア・ナフダトゥール・ウンマ統一党(PNUI)	203	125	61.5	78	38.4	66	53	80.3
13	国民信託党(PAN)	520	338	65.0	182	35.0	69	45	85.2
14	民族憂慮職能党(PKPB)	414	265	64.0	149	35.9	69	49	71.0
15	民族覚醒党(PKB)	451	281	62.3	170	37.6	69	45	65.2
16	福祉正義党(PKS)	446	266	59.6	180	40.3	69	65	94.2
17	改革の星党(PBR)	317	217	68.4	100	31.5	68	35	51.4
18	闘争民主党(PDIP)	558	400	71.6	158	28.3	69	31	44.9
19	福祉平和党(PDS)	283	196	69.2	87	30.7	69	48	69.5
20	ゴルカル党(P. GOLKAR)	652	467	71.6	185	28.3	69	24	34.7
21	パンチャシラ愛国党(P. PATRIOT)	173	122	70.5	51	29.4	69	42	60.8
22	インドネシア統一党(PSI)	261	160	61.3	101	38.6	69	35	50.7
23	地方統一党(PPD)	187	123	65.7	64	34.2	68	42	61.7
24	先覚者党(P. PELOPOR)	174	121	69.5	53	30.4	65	26	40.0
	合 計	7,756	5,249	67.6	2,507	32.3			

説明: JC(候補者総数); CP(女性候補); CL(男性候補); DP(選挙地域); KPDP(女性クォータを満たしている選挙地域); % (パーセンテージ), Noは, 2004年総選挙参加政党の政党番号に依った  
 出典: 上記データは以下から著者が選別した: (1)選挙委員会事務局 www.kpu.go.id, (2)中央選挙委員会メディアセンター事務局, (3)Detik Com www.detik.com, CETRO www.cetro.or.id

補の地位に関する次のようなデータを見てみよう。

今回の2004年総選挙では、立候補者たちは国会（DPR ; Dewan Perwakilan Rakyat）の550議席をめぐる争う。選挙委員会（KPU）のデータによると、この550議席は69選挙地域7,756人の候補者たちによって争われる。7,756候補者のうち、2,507人（32.3%）が女性候補で、5,249人（67.6%）が男性候補である。他方、KPUによって確定された参加政党は24政党。つまり、計算すると国会（DPR）の1議席が14人の候補によって争われる事になる。そのようなシステムのなかで、女性候補が最低30%の議席を獲得するチャンスはあるのだろうか。

一般的に30%女性代表権というのは、二つの側面から見ることができる。第一の側面は、候補者総数からみて政党が満たした女性クォータ（女性への割り当て）、そして二番目は選挙地区からみて政党が満たした女性クォータである。もし女性クォータを第一の側面から見ると、政党は既に女性候補を30%配置するよう努力しているように見える。表1のデータによると、24政党のうち女性クォータを満たしていない政党は8つだ。皮肉な事に、その政党は28.3%しか配置していないゴルカルや、28.3%のインドネシア闘争民主党（PDIP）、22.3%の開発統一党（PPP）、23.6%の月星党（PBB）といった古い政党によって占められている。

他方、新しい政党で女性クォータを満たしていないのは、マルハエニズム・インドネシア国民党（27.9%）、パンチャシラ愛国党（28.3%）、民主党（27%）、独立水牛国民党（29.6%）で、女性候補を最も高いパーセンテージで擁立しているのは福祉正義党（PKS）で、40.3%である。

第二の側面から見ると、69選挙地区の全てで30%クォータを満たしている政党は、データの中には一つもない。24政党のうち福祉正義党（PKS）だけが最も多く、69選挙地域のうち65地域に30%女性クォータが分布している。他方で、ゴルカルは30%クォータの分布が最も小さい政党で、選挙地区69のうち24地区しかクォータを満たしていない。

表1のデータは、総じて女性代表権が危機的な状態であることを示している。

つまり、多数の政党が30%クォータを満たして女性候補を配置しているが、実際その政党というのは1999年総選挙の得票政党ではない。ゴルカルや闘争民主党、月星党、開発統一党といった得票政党は、30%を超える女性候補を擁立しているわけではないし、選挙地区の分布という側面から見ても、いわゆる得票政党が新しい政党に比べて広くクォータを分布させているわけではない。24選挙地区に分布させているにすぎないゴルカル以外にも、闘争民主党も31選挙地区でクォータを満たしているに過ぎず、開発統一党も30選挙地区、民族覚醒党 (PKB) は45選挙地区、月星党 (PBB) は42選挙地区、国民信託党 (PAN) は45選挙地域にすぎない。女性候補の代表権が直面しているのは、候補者総数だけでなく、選挙区別に見た文脈においてもクォータが満たされるのかという問題である。

女性代表権が危機的な状態にあるということは、次の表2の、名簿順位が1位、2位の女性候補の総数とパーセンテージのデータを見るとますます明らかになる。

2,507人の女性候補のうち、順位1位に擁立されている女性候補総数は242人でおおよそ9.7%、順位2位にノミネートされている女性候補総数は421人おおよそ16.8%である。当選可能順位に配置されている女性候補は663人にすぎず、当選可能性のとても小さいそれ以下の順位の女性候補は1,839人にのぼる。

表2のデータに注目すると、女性候補は単なる「集票マシン」に過ぎないのではないかという誰もが抱く不安は確かにあたっているようだ。というのは、当選可能順位の1位、2位にノミネートされている女性候補数とパーセンテージが小さいからだ。皮肉な事に、当選可能性が小さい女性たちは大きな政党に顕著である。例えば、ゴルカルは、185人中、当選可能順位に17人 (5.9%) しか女性候補を配置していないし、闘争民主党は158人中17人 (7.0%)、国民信託党は182人中21人 (6.6%)、民族覚醒党は170人中24人 (9.4%)、開発統一党は111人中14人 (7.2%)、そして月星党は80人中24人 (12.4%) である。

約40.3%の女性候補を置き、最大94.3%の選挙地区でクォータを満たしている福祉正義党にしても、女性候補180人のうち当選可能順位1位に配置してい

表2. 2004年総選挙名簿順位1位2位女性候補の総数とパーセンテージ

No	政党名	JCP	TJC	名簿順位/女性				TC PNJ	% CPNJ	% TCPP
				1	%	2	%			
1	PNI MARHAENIS	60	215	9	15.0	17	43.3	26	28.3	12.0
2	PBSD	90	242	16	17.8	24	44.4	40	26.7	16.5
3	PBB	80	336	14	17.5	10	30.0	24	12.5	7.1
4	P. MERDEKA	72	202	12	16.7	24	50.0	36	33.3	17.8
5	PPP	111	497	6	5.4	8	12.6	14	7.2	2.8
6	PDK	73	223	13	17.8	30	58.9	43	41.1	19.2
7	PIB	94	244	21	22.3	20	43.6	41	21.3	16.8
8	PNBK	64	216	5	7.8	22	42.1	27	34.3	12.5
9	P. MERDEKA	117	433	8	6.8	12	17.1	20	10.3	4.6
10	PPKI	97	250	8	8.2	23	32.0	31	23.7	12.4
11	PPDI	91	259	16	17.6	18	37.3	34	19.8	13.1
12	PNUI	78	203	7	9.0	32	51.3	40	41.0	19.7
13	PAN	182	520	9	5.0	12	11.5	21	6.6	4.0
14	PKPB	149	414	5	3.4	22	18.1	27	14.8	6.5
15	PKB	170	451	8	4.7	16	14.1	24	9.4	5.3
16	PKS	180	446	6	3.3	14	11.1	20	7.8	4.4
17	PBR	100	317	9	9.0	11	20.0	20	11.0	6.3
18	PDIP	158	558	6	3.8	11	10.8	17	7.0	3.0
19	PDS	87	283	9	10.3	13	25.3	22	14.9	7.7
20	P.GOLKAR	185	652	6	3.2	11	9.2	17	5.9	2.6
21	P. PATRIOT	51	173	13	25.5	21	66.7	34	41.2	19.6
22	PSI	101	261	15	14.9	22	36.7	37	21.8	14.1
23	PPD	64	187	14	21.9	13	42.2	27	20.3	14.4
24	P. PELOPOR	53	174	7	13.2	15	41.5	22	28.3	12.6
	合計	2,507	7,756	242	9.7	421	26.5	663	16.8	8.5

説明：JCP(女性候補者数)，TJC(政党候補総数)，TCPNJ(当選可能順位の女性候補者数)% CPNJ(当選可能順位の女性候補の割合)，%TCPP(政党における女性候補総数の割合)

出典：上記データは以下から著者が選別した (1)選挙委員会事務局 [www.kpu.go.id](http://www.kpu.go.id) (2)中央選挙委員会メディアセンター事務局 (3)Detik Com [www.detik.com](http://www.detik.com), CETRO [www.cetro.or.id](http://www.cetro.or.id)

るのは6人，2位に配置しているのは14人である。つまり，当選可能順位への女性候補の配置は，最大でも20人にすぎない。残り(160人)は，票を集めるために利用されるだけの当選可能性がない候補だ。

表2は，女性候補の実際の数が，30%にはとても及ばないことを明示している。女性候補にとって1位2位という順位の数は，クォータを満たすために，政党によって真面目に提供されなければならないものだ。つまり，政党が女性候補に当選可能順位をわざと与えていないという現象があるということだ。確かに，女性への30%クォータは，「集票マシン」として利用されているにすぎない。

それどころか，30%クォータの規定をすでに満たしている福祉正義党にしても，その示された数は実質的なものではない。福祉正義党の女性候補の実質的

な数は、20人（順位1位が6人、2位が14人）で、全ての女性候補のおよそ4.4%にすぎない。他方、ゴルカルの実際の代表の数は2.6%、闘争民主党は3%（表2の9行と11行を参照）だけだ。

つまり、女性候補が30%を代表する可能性がきわめて小さいことは明らかで、そのことは次の表3からもわかる。

表3のデータは、順位1位の女性候補同士が争う選挙地区を示したもので、表4のデータは、順位2位の女性候補者同士が争う選挙地区を示したものである。表3に示されているように当選可能順位の女性候補はただでも少ないのに、同じ選挙地区で争う1位2位の女性候補の間の競争率が高くなることで、ますます狭き門になってしまう。1位2位にいる女性候補は、他の政党の候補と競

表3. 順位1位の女性候補同士が争う選挙地域図

争奪戦が行われる選挙地域の数	競合する女性候補の数
3 選挙地区： 西ジャワ1, バンカ・ブリトゥン, ジャカルタ特別州2	競合する1位の女性候補が1人の地域
15 選挙地区 ランブン1, アチェ1, アチェ2, 北スマトラ1, リオウ, 西スマトラ2, 西ジャワ3, ジョグジャカルタ特別州, 東ジャワ2, 西カリマンタン, 南カリマンタン, 東南スラウエシ, 南スラウエシ1, ゴロンタロ, マルク	競合する1位の女性候補が2人の地域
15 選挙地区 東ジャワ9, スマトラ3, 南スマトラ1, バンテン2, 西ジャワ2, 西ジャワ6, 西ジャワ8, 東ジャワ4, 東ヌサトゥンガラ1, 中部スラウエシ, 南スラウエシ2, 北マルク, 西イリアンジャヤ, 中部ジャワ8, 東ジャワ7	競合する1位の女性候補が3人の地域
20 選挙地区 中部ジャワ4, 西スマトラ1, 南スマトラ2, ジャカルタ特別州1, 西ジャワ7, 9, 10, 中部ジャワ1, 2, 7, 10, 東ジャワ6, 8, 10, 東カリマンタン, 西ヌサトゥンガラ, 東トゥンガラ2, パプア, バンテン1, ランプン2	競合する1位の女性候補が4人の地域
9 選挙地区 中部ジャワ5, ブンクル, 西ジャワ4, 中部ジャワ6, 9, 東ジャワ1, 東ジャワ3, バリ, ジャンビ	競合する1位の女性候補が5人の地域
5 選挙地区 中部カリマンタン, リオウ諸島, 西ジャワ5, 中部ジャワ3, 東ジャワ5	競合する1位の女性候補が6人の地域
1 選挙地区 北スラウエシ	9人が競合する

出典：上記データは以下から著者が選別した (1)選挙委員会事務局 [www.kpu.go.id](http://www.kpu.go.id) (2)中央選挙委員会メディアセンター事務局 (3)Detik Com [www.detik.com](http://www.detik.com), CETRO [www.cetro.or.id](http://www.cetro.or.id)

表4. 順位2位の女性候補同士が争う選挙地域図

争奪戦が行われる選挙地域の数	競合する女性候補の数
3 選挙地区：北マルク，東ヌサトゥンガラ1，南スマトラ1	2位の女性候補が2人
4 選挙地区：マルク，バンテン2，西ジャワ5，東カリマンタン	2位の女性候補が3人
8 選挙地区：南スラウェシ2，北スマトラ1，3，南スマトラ2，東ジャワ3，西ジャワ10，中部ジャワ9，東ヌサトゥンガラ2	2位の女性候補が4人
14 選挙地区：バリ，北スマトラ2，アチェ2，リオウ諸島，西スマトラ1，ランブン1，西ジャワ1，3，ジャカルタ特別州1，中部ジャワ3，5，6，東ジャワ1，西イリアンジャヤ	2位の女性候補が5人
12 選挙地区：東ジャワ10，リオウ，西ジャワ4，9，中部ジャワ8，西ヌサトゥンガラ，中部ジャワ10，西カリマンタン，南カリマンタン，ランブン2，南スラウェシ1，東南スラウェシ	2位の女性候補が6人
9 選挙地区：パプア，アチェ1，ジャンビ，西ジャワ6，7，中部ジャワ7，東ジャワ8，バンテン1，中部スラウェシ	2位の女性候補が7人
10 選挙地区：北スラウェシ，西ジャワ2，中部ジャワ1，東ジャワ5，6，7，9，ゴロンタロ，西スマトラ2，ジャカルタ特別区2	2位の女性候補が8人
6 選挙地区：東ジャワ2，ブンクル，中部ジャワ2，バンカ・プリトゥン，西ジャワ8，ジョグジャカルタ特別州	2位の女性候補が9人
2 選挙地区：中部カリマンタン，東ジャワ4	2位の女性候補が10人
1 選挙地区：中部ジャワ4	2位の女性候補が11人

出典：上記データは以下から著者が選別した (1)選挙委員会事務局 [www.kpu.go.id](http://www.kpu.go.id) (2)中央選挙委員会メディアセンター事務局 (3)Detik Com [www.detik.com](http://www.detik.com), CETRO [www.cetro.or.id](http://www.cetro.or.id)

争しなければならないだけでなく、同じ政党の女性候補同士とも競争しなければならない。たとえば、順位1位の女性候補を見てみると、20の選挙区に、互いに争奪戦をしなければならない同順位の女性候補が4人いる。つまり、この20のそれぞれの地区は4人の女性候補が争っている。その他に、順位が1位の女性候補9人で争われる選挙地区も1つある。

当選可能な順位2位の女性候補にも同じことが起こっている。彼女たちは様々な地区で、女性候補同士の争いに直面している。それどころか、順位1位と比べて、順位2位は激戦区とそうでないところとの競争の差が広がっている。例えば、11人の女性候補同士で争わなければならない選挙区も一つある。

一つの選挙区で、政党間の女性候補の競争率が高くなればなるほど、その女性候補たちが首尾よく議員になれるチャンスは小さくなる。そうすると、女性候補たちはそれぞれが、選挙を勝ち抜く最大限の努力を強いられることになる。



他方で、選挙地区の議席配分には限界がある。結局、この候補者間の競争によって自動的に女性候補の擁立の数は減ることになるだろう。例えば、6議席を持つ北スラウェシの選挙地区は、順位1位の女性候補9人によって争われるのだ。

単純に計算しても、9人の女性候補が全部選ばれるという事はない。そしてもし6つの議席が9人の女性候補によって争われると仮定したら、3人の女性候補は必ず落選するはずである。問題は、北スラウェシの女性候補が全ての議席を獲得できるのか、他の地域においても獲得できるかということである。

北スラウェシの順位1位の女性候補たちがマルハエン主義インドネシア国民党 (PNI Marhaenisme)、独立党 (P. Merdeka)、新インドネシア連合党 (PIB)、インドネシア正義統一党 (PPKI)、インドネシア民主主義堅持党 (PPDI)、インドネシア・ナフダトゥール・ウンマ統一党 (PNUI)、改革の星党 (PBR)、パンチャシラ愛国党 (P. Pancasila)、地方統一党 (PPD) といった新しい政党によって擁立されていることに鑑みれば、彼らは支持基盤がまだないので、大政党が圧倒的に支配している選挙を勝ち抜くことはできず (付録表を参照)、議席を獲得するチャンスはますます無くなるだろう。

この論稿で示されたデータからは、30%女性代表権に関して、多くの事を知ることができた。政党における女性代表権という課題は、期待とはまだかなりかけ離れているようだ。詳細にデータを見ると、女性候補が選挙を勝ち抜くチャンスがいかに小さいかがわかる。そのデータは、女性候補をめぐる取り決めに関して、インドネシアの2004年総選挙の参加政党の本当の姿である。一般的には、確かに女性に対して配慮しているかに見えるが、女性候補に対してほとんどチャンスを与えていないデータの数字から、この代表権への政党の配慮が偽りだということが分かってしまう。

CETROが示したことがあるように、女性代表が少ないという問題は、基本的にシステムとして即ち意図的なものとして出来上がっており、この論稿のデータはその事実をさらに補強して示している。この数字が、政党による女性

候補の配置・擁立の過程で起こっていることであり、いかに女性代表権を実現していないかは明らかだ。システマティックに、彼らは2004年総選挙の「集票マシン」として配置されているだけである。

2004年の総選挙で女性が30%を代表することができるチャンスは小さいという事は、女性代表権がもはや政党の公約だけを頼みにする事はできないということの証である。それゆえ、政党の公約以外に、女性代表権は、女性のクォータ問題にもっとしっかりと味方する法律システムによって支えられなければならない。

おそらく、女性の30%代表権が、「満たされることができる」という言葉ではなく、全選挙区のそれぞれの政党によって「満たされなければならない」と法律で言明されたなら、そのデータも違った内容になるだろう。もし、そのことが既になされていたなら、現在、政党への女性代権が「幻に過ぎない」と言われる事はなかっただろう。この論稿の最初の話のエンダンさんが、候補になることについての交渉を「考え直した」のは幸なことだった。なぜなら、そうした交渉は、2004年総選挙における政党によって、本当に望まれたものではなかったからである。

付録表. 各選挙区で当選可能順位に女性候補を擁立している政党

	選挙区	議席割当	1位の女性候補を擁立している政党	2位の女性候補を擁立している政党
1	アチェ1	7	PIB, P.GOLKAR	P.MERDEKA, PPP, PIB, PPDI, P.PATRIOT, PPD, P.PELOPOR
2	アチェ2	6	PBSD, PSI	PPDI, PNUI, PAN, PSI,PNBK
3	北スマトラ1	10	PBB, PPD	P.MERDEKA,PDK,PPKI,P.GOLKAR,
4	北スマトラ2	9		PBSD, PDK,PPDI,PKPB,PSI
5	北スマトラ3	10	PBB, PBR, PSI	PBSD, PDK,PNUI, PNBK
6	リオウ	11	PIB, PAN	P.MERDEKA, PIB, PKPI, P.PATRIOT P.PELOPOR, PNBK
7	リオウ諸島	3	PBSD, PDK, PKPB, PKS, PSI, P.PELOPOR	PIB, PKPI, PKPB, P.PATRIOT, P.PELOPOR,
8	ジャンビ	7	PPDI, PKB, PDIP, P.PELOPOR	PDK,PNUI,PKPB,PDIP,P.PATRIOT, PSI,PPD
9	バンカ	3	PIB	PNI, PBSD, P.MERDEKA, P.DEMOKRAT,PKPI, PKPB, PBR, PDS, PNBK

	選挙区	議席割当	1位の女性候補を擁立している政党	2位の女性候補を擁立している政党
10	西スマトラ 1	8	PBSD, PBB, PPKI, P.PELOPOR	PIB, PNUI, PKB, PDS, PSI
11	西スマトラ 2	6	PSI, P.PELOPOR	PBB, PDK, PIB, PKPI, PNUI, PDS, P.PATRIOT, PNBK
12	南スマトラ 1	8	PBSD, P.MERDEKA, PPDI	PBB, PKPI,
13	南スマトラ 2	8	P.MERDEKA, PPDI, PKB, PPD	P.MERDEKA, PDK, PAN, PSI
14	ブンクル	4	PNI MARHAEN, PDK, PPDI, PNUI, PDIP	PNI, PBSD, P.MERDEKA, PDK, PNUI, PAN, PKPB, PKB, PDIP
15	ランブン 1	8	PIB, PPP	PNI, PBSD, PDIP, PSI, P.PELOPOR
16	ランブン 2	9	PBB, PAN, P.PELOPOR, PNBK	PNI, PBB, PNUI, PKPB, P.PATRIOT, PNBK
17	ジャカルタ特別区 1	12	PBSD, PIB, PPDI, PKPB	PPP, PDK, PIB, PAN, PKS
18	ジャカルタ特別区 2	9	P.MERDEKA	P.DEMOKRAT, PIB, P.DEMOKRAT, PNUI, PKS, P.GOLKAR, P.PELOPOR, PNBK
19	バンテン 1	11	PPDI, PNUI, P.PATRIOT, PNBK	PBSD, PIB, PKS, PDIP, P.PATRIOT, PSI, PNBK
20	バンテン 2	11	PBSD, P.PATRIOT, PPD	PDK, PKPB, PKB
21	西ジャワ 1	6	PIB	PDK, PPDI, PBR, P.PELOPOR, PNBK
22	西ジャワ 2	10	PDK, PIB, PKB	PNI, PPP, PDK, PNUI, PAN, PDI, PDS, PSI
23	西ジャワ 3	11	PBSD, PIB	PDK, PIB, PNUI, PDIP, PNBK
24	西ジャワ 4	11	P.MERDEKA, PKB, PBR, PDIP, PPD	PNI, PBB, PPDI, PAN, PBR, PSI
25	西ジャワ 5	12	PBSD, PBB, PIB, PPDI, PNUI, PKS	PIB, P.DEMOKRAT, P.PATRIOT,
26	西ジャワ 6	6	PBSD, PPDI, PAN	PNI, PBSD, PIB, PPDI, PKB, PKPB, P.PELOPOR
27	西ジャワ 7	9	PNI, P.DEMOKRAT, PBR, PPD	P.DEMOKRAT, PKPI, PPDI, PAN, PKPB, PKB, P.PELOPOR,
28	西ジャワ 8	8	PBB, PIB, P.DEMOKRAT	PNI, PBSD, PIB, PNUI, PAN, PKB, PPD, P.PELOPOR, PNBK,
29	西ジャワ 9	7	PBB, PPKI, PPDI, PPD	PBSD, PKPI, PNUI, PKPB, PKB, P.GOLKAR
30	西ジャワ 10	10	PDK, PPDI, PAN, PSI	PNI, PKPI, PKPB, PDS,
31	中部ジャワ 1	8	PBSD, PBB, PDK, P.DEMOKRAT	PKPI, PNUI, PKPB, PDIP, PDS, P.PATRIOT, PSI, PPD,
32	中部ジャワ 2	7	PDK, PIB, P.PATRIOT, PPD	PBSD, P.MERDEKA, PDK, PIB, P.DEMOKRAT, PKPI, PNUI, P.GOLKAR, P.PATRIOT
33	中部ジャワ 3	9	P.MERDEKA, PIB, PPDI, PKB, P.PATRIOT, P.PELOPOR,	P.MERDEKA, PKPI, PNUI, PPD, PNBK
34	中部ジャワ 4	6	PDK, PIB, PAN, PPP	PBSD, P.MERDEKA, PPP, PDK, PIB, PPDI, PKS, PBR, P.PATRIOT, PPD, PNBK
35	中部ジャワ 5	8	PBB, PKS, P.PATRIOT, PSI, PPP	PBSD, P.MERDEKA, PDK, PKPI, PPDI
36	中部ジャワ 6	8	PBB, P.DEMOKRAT, P.GOLKAR, P.PATRIOT, PSI,	P.MERDEKA, PDK, PIB, PNUI, PDS
37	中部ジャワ 7	7	PPKI, P.PATRIOT, PSI, PPD	PBB, PKPI, PNUI, PBR, P.PATRIOT, PSI, P.PELOPOR
38	中部ジャワ 8	8	P.MERDEKA, PPDI, PPP	PBB, PIB, PNUI, PKPB, P.GOLKAR, PPD

	選挙区	議席 割当	1位の女性候補を擁立している政党	2位の女性候補を擁立している政党
39	中部ジャワ9	8	PBSD, PPD, PDS, P.PATRIOT, PPD	PNI, P.MERDEKA, PKPI, PPD
40	中部ジャワ10	7	PBSD, PKS, PSI, PPD	PNI, P.DEMOKRAT, PNUI, PKPB, P.PATRIOT, PPD,
41	ジョグジャカルタ特 別州	8	PKB, PBR,	PBSD, PBB, PDK, PIB, PKPI, PNUI, PAN PDIP, PNBK
42	東ジャワ1	10	P.MERDEKA, PIB, PNUI, P.PATRIOT, PPD,	P.MERDEKA, PDK, PNUI, PKB, PDS
43	東ジャワ2	7	PBSD, P.GOLKAR	PBB, PDK, P.DEMOKRAT, PKB, PDS, P.PATRIOT, PSI, P.PELOPOR, PNBK
44	東ジャワ3	7	PPKI, PAN, PKPB, PKS, PDS	PDK, PKPI, PPD, PNBK
45	東ジャワ4	8	PDK, PPKI, PDS	PBSD, P.MERDEKA, PDK, PIB, P.DEMOKRAT, PKPB, PDS, P.PATRIOT PSI, PPD
46	東ジャワ5	8	P.MERDEKA, PID, PKB, P.GOLKAR P.PATRIOT, PSI,	PNI, PDK, PKPI, PAN, PKS, PBR, P.GOLKAR, PSI
47	東ジャワ6	9	PNI, P.MERDEKA, PNUI, PDS	P.MERDEKA, PDK, P.DEMOKRAT, PKPI, PPD, PNUI, PKPB, PKS
48	東ジャワ7	8	PAN, PDS, PPP	PBSD, PBB, PPP, PNUI, PKPB, PKB, PDS, P.PATRIOT,
49	東ジャワ8	10	P.MERDEKA, PIB, PAN, PBR	PBSD, P.MERDEKA, P.GOLKAR, P.PATRIOT, PSI, PPD, P.PELOPOR,
50	東ジャワ9	11	P.GOLKAR, P.PATRIOT, PPP	PBSD, PPP, PDK, PIB, PPD, PNUI, PKB, PSI
51	東ジャワ10	8	P.MERDEKA, PDK, PIB, PPD	P.DEMOKRAT, PAN, PKS, PDIP, P.PATRIOT, PNBK
52	西カリマンタン	10	PNI, P.MERDEKA,	PBSD, PPP, PDK, P.DEMOKRAT, PNUI, PKPB
53	中部カリマンタン	6	PNI, PKPB, PDIP, P.GOLKAR, P.PELOPOR, PNBK,	PBSD, P.MERDEKA, PDK, PKPI, PNUI, PKB, PKS, PBR, P.PATRIOT, PPD
54	東カリマンタン	8	PBB, PIB, PKPB, PDS	P.MERDEKA, PKPI, PPD
55	南カリマンタン	11	PKPI, PDIP,	PNI, PBSD, P.MERDEKA, PDK, P.PATRIOT, PSI
56	バリ	9	PNI, PDK, PNUI, PBR, PSI	P.MERDEKA, PKPB, PKS, P.GOLKAR, PPD
57	西ヌサトゥンガラ	10	PBSD, PBB, PIB, PPD	PBSD, PDK, PKPI, PNUI, PKS, P.PATRIOT,
58	東ヌサトゥンガラ1	6	PBSD, PDK, PKB	PNI, PKS
59	東ヌサトゥンガラ2	7	PBB, P.DEMOKRAT, PKS, PDS	PBSD, PKPB, PPD, P.PELOPOR
60	北スラウェシ	6	PNI, P.MERDEKA, PIB, PPKI, PPD, PNUI, PBR, P.PATRIOT, PPD	PBSD, P.MERDEKA, PDK, PIB, PKPB, PBR, PSI, PNBK
61	中部スラウェシ	6	PPKI, PDS, PPD	PNI, PKPI, PNUI, PKPB, PBR, PSI, PNBK
62	東南スラウェシ	5	PNI, P.PATRIOT	P.MERDEKA, PKPI, PNUI, PKB, P.GOLKAR, P.PELOPOR
63	南スラウェシ1	12	PPDI, PNUI, PDS,	P.DEMOKRAT, PNUI, PKB, PBR, PDIP, PDS
64	南スラウェシ2	12	PBSD, PAN, PBR	PDK, PNUI, P.GOLKAR, P.PELOPOR,
65	ゴロンタロ	3	PDK, P.DEMOKRAT	PBSD, PBB, PPP, PDK, PKPI, PBR, PDS, P.GOLKAR

	選挙区	議席 割当	1位の女性候補を擁立している政党	2位の女性候補を擁立している政党
66	北マルク	3	PIB, PDIP, PSI	PPDI, PSI
67	マルク	3	PBR, PSI	PAN, PKPB, PSI
68	西イリアン	3	PDS, PSI, PNI MARHAENIS	PNI, PKPI, PKB, PKS, PNBK,
69	パプア	10	PBB, PDK, PSI, PNBK,	PNI, PNUI, PKB, PKS, PDIP, PSI, PNBK
	合 計	550		

出典：上記データは以下から著者が選別した：(1)選挙委員会事務局 [www.kpu.go.id](http://www.kpu.go.id) (2)中央選挙委員会メディアセンター事務局 (3)Detik Com [www.detik.com](http://www.detik.com), CETRO [www.cetro.or.id](http://www.cetro.or.id)